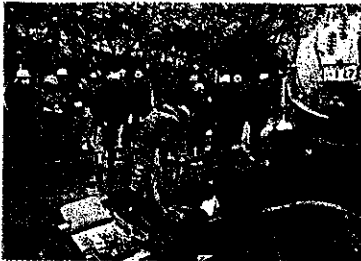


アイスピック工法で
圧送管を緊急清掃

東亜グラウト工業

東亜グラウト工業はこ
のほか、長野県松本市水



吐出口で清掃効果を
確認する関係者

道局(下水道課)発注の
管路清掃工事を「アイス
ピック管内洗浄工法」で受
注し、先月11日に同市島
内地区で管清掃を実施し
た。施工後に松本市が同
協会事務局へ伝えたデー
タによると、洗浄前に1
分あたり80リットルだった同管
渠の流量は洗浄後には
同148リットルまで増加し
ており、185%の改
善効果があったとして
いる。

今回発注された「山
田圧送管緊急管路清掃
工事」は、圧送管用マ
ンホールポンプの機能
低下に伴うもの。対象
管渠は、01年に布設さ
れた耐衝撃性硬質ポリ

塩化ビニル管(913
径)。
発注に当たり松本市で
は、高圧洗浄工法および
ピック(スポンジ)洗浄工
法をあわせて検討した
が、管路延長が913リ
と長いことに加え、途中
に高低差30%の勾配があ
ることから、管内で詰ま
ることがなく吐出口まで
ほぼ同じ圧力で清掃工が
可能なアイスピック洗浄工
法以外は効果を期待でき
ないと判断した。施工
は、アイスピック研究会中
部地域支部の山越(相澤
宏暢社長)が実施した。

この日の施工では、約
10分をかけて管内へアイ
スピグを注入したのうち、
一般廃棄物処理施設「エ
コトピア山田」内に設け
た吐出口まで約40分かけ
てアイスピックを押し込
み、管内を清掃した。
施工の様子を視察した
松本市の結城課長は「こ
んなに汚れているとは思
っていなかった。驚い
た。本当に「掃除」した
感じがする」と同工法の
効果を評価した。